

第2期東海村スポーツ推進計画（案）

▼スポーツ基本法第10条第1項に基づく地方スポーツ推進計画

▼計画期間：令和6-10年度（5年間）※社会経済情勢や各施策の状況など、必要に応じて見直し

教育委員会 生涯学習課 文化・スポーツ推進担当
東海村スポーツ推進計画推進委員会

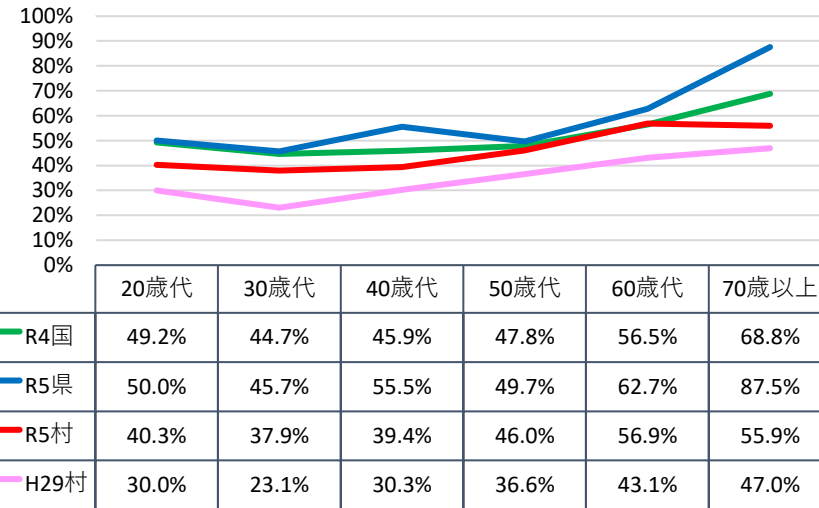
計画策定の趣旨

社会経済情勢や多様化する価値観、ライフスタイル等、スポーツを取り巻く環境の変化に応じて、本村のスポーツ施策を総合的かつ計画的に推進し、運動・スポーツ実施率の向上及びスポーツを通じた「地域のつながりづくり」「まちのにぎわいづくり」に向けた施策を主体的に展開するための指針として、第2期東海村スポーツ推進計画を策定する。

第1期計画の評価・総括

数値目標	目標値	H29	R5	増減
村内成人の週1回以上のスポーツ実施率	60.0%	36.5%	47.7%	11.2pp
達成指標	学年・性別	H29	R5	増減
放課後や休日に、運動部やスポーツクラブ以外で、運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをする児童・生徒の増加	小5男子	81.1%	75.0%	-6.1pp
	小5女子	76.5%	81.5%	5.0pp
	中2男子	69.4%	65.9%	-3.5pp
	中2女子	48.4%	53.4%	5.0pp
余暇時間におけるスポーツ実施率の増加		13.8%	11.8%	-2.0pp
きっかけがないためにスポーツを行っていない人の減少		29.7%	22.7%	-7.0pp
スポーツボランティア経験者の増加		17.7%	27.9%	10.2pp
スポーツに関心がある人の増加		75.7%	77.3%	1.6pp

週1回以上の運動・スポーツ実施率（年代別）



運動・スポーツに関するアンケート調査結果

▼調査対象：村内在住の18歳以上80歳以下の2,000名（男女各1,000名）を無作為抽出

▼回収結果：回収率：36.8%（内訳：郵送回収 25.9%，Web回収 10.9%）

- 週1回以上のスポーツ実施率は、健康、体力づくりへの意識の高まりもあり、前回調査より上昇しているが、**国県調査や第1期計画の数値目標は未達**となっている。
- 特に**30-40代はスポーツへの関心が最も高い年代であるにも関わらず、スポーツ実施率は低い結果**となっている。
- スポーツ施設については、不足を感じていない人が多い一方で、**利用手続きや利用料支払い方法の簡略化**を希望する声が強くなっている。
- 子育て中の方は「託児サービスの充実」「利用時間帯の拡大」をスポーツ施設に望む等、**年齢や性別、ライフステージに応じてスポーツ施設・事業に求めるニーズが異なる**。
- スポーツを実施する場所として、公共施設の割合が大幅に減少し、**1人で取り組むことのできる自宅や近所の空き地、道路、公園が増加**している。
- 「観戦したいスポーツ」について、多くの方が国際試合やプロの試合だけでなく「**地域の大会や試合」「スポーツ少年団等、地域の子どもの大会や試合**」を選択している。
- スポーツボランティアの参加経験者は増加しており、国県調査結果と比較しても高くなっているが、依然として**未経験者の割合が大きい**。
- 「運動やスポーツがもたらす効果や価値」について、過半数の方が「**地域活性化」「地域のつながりづくり」「世代間交流の促進」「魅力的なまちづくり**」を選択している。
- 個人で運動・スポーツをする時は「**体力・健康づくりを目的として短時間で身近な場所で**」、グループで運動・スポーツをする時は**体力・健康づくりに加えて「仲間との交流を目的として比較的長時間で施設を利用して」という傾向がある**。

第2期東海村スポーツ推進計画（案）

教育委員会 生涯学習課 文化・スポーツ推進担当
東海村スポーツ推進計画推進委員会

- ▼スポーツ基本法第10条第1項に基づく地方スポーツ推進計画
- ▼計画期間：令和6-10年度（5年間）※社会経済情勢や各施策の状況など，必要に応じて見直し

基本理念

スポーツを通して人がつながり，まちが元気になる

目指す将来ビジョン

- 自分に合った「始める」「続ける」「活躍する」が叶う「スポーツが身近なまち」
- 関わる・支える・つながる・育てる 地域力を引き出す「スポーツネットワーク」
- 村民の健康と笑顔があふれ，選ばれる「スポーツのまちTOKAI」

施策体系

基本目標

基本目標	施策
1 スポーツに親しむ機会の創出	(1) 子どもの運動あそびの充実
	(2) 身近にスポーツができる機会の充実
	(3) スポーツ活動の場の整備・充実
2 スポーツを取り巻く環境の充実	(1) スポーツ団体等の活動支援
	(2) 運動・スポーツの担い手の育成と活動支援
	(3) 学校におけるスポーツ活動への支援
3 スポーツを通じたまちの魅力の発信	(1) スポーツを魅せる環境づくり
	(2) スポーツの楽しみ方や魅力の発信
	(3) スポーツを核としたにぎわいの創出

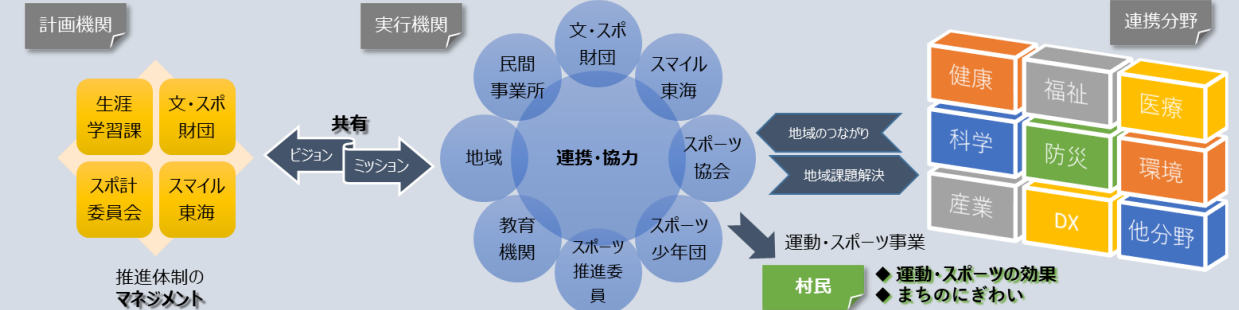
キーワード

- 「する」スポーツ → **きっかけ・場づくり**
- 「ささえる」スポーツ → **つながりづくり**
- 「みる」「にぎわう」スポーツ → **まちづくり**

主な取り組み

- 「あそび」を通じた子どもの運動習慣・健康づくり
- 「生活の一部」としての運動・スポーツの定着化（Sports in Life）
- ライフステージ・スタイルに応じたスポーツ施設の利便性向上（時間，料金，サービス等）
- 安全・安心な運動・スポーツの実践支援（医・科学分野連携等）
- 競技者・指導者・支援者が地域で活躍できる仕組みづくり
- 中学校運動部活動の地域クラブ化
- プロチームや地域スポーツ団体を地域が応援する仕組みづくり
- 運動・スポーツ，健康づくりに関するプラットフォームの構築（スポーツSNS等）
- 地域資源の活用，多分野連携によるスポーツを通じた地域交流・にぎわいの創出

推進体制



目標指標

村内成人の週1回以上の運動・スポーツ実施率

60.0%以上（継続）

国	R3	⇒	R8
	56.4%		70.0%
県	R2	⇒	R7
	50.5%		65.0%
村	R5	⇒	R10
	47.7%		60.0%

※目標指標の達成状況は，R9年度に実施する「運動スポーツに関するアンケート調査」で検証。